

## (清須市) 清須市地域学校協働本部

市町村の 基本情報	学校数	小学校 8 校、中学校 4 校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員		1 人
		地域学校協働活動推進員		27 人
	CS 及び地域学校協働本部設置状況	統括コーディネーター		0 人
		地域コーディネーター		0 人
	CS 及び地域学校協働本部設置状況	CS を導入している学校数	小 8 校	中 4 校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小 8 校	中 4 校	



### 「地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える～支援から協働へ～」

#### －コミュニティ・スクール(学校運営協議会)と地域学校協働活動の一体的推進－

本市における地域学校協働活動は、学校における学校支援ボランティアの継続的な活動として、読書活動推進の支援・防災教育推進の支援を 2 つの柱として、活動してきた。今年度は、東海豪雨から 25 年という節目の年にあたるため、「忘れない東海豪雨～東海豪雨から 25 年 命を守るために今できること～」をテーマに、様々な活動を学校単位での活動にとどまらず、地域での活動に積極的に関わってきた。

#### (活動の実際)

#### 「きよす防災フェスタ」(9月6日(土) 10時～13時 にしび創造センター)の開催

(テーマ) ～「知る・楽しむ」「未来につなぐ」「楽しく学ぶ親子体験」防災 DAY～

(目的) 学びや遊びを通じて防災意識を高める。

(活動内容) 会場内に、防災に関する様々なブースを設け、スタンプラリーのかたちで、来場者に自由にまわってもらう。ドレミホールでは、西枇杷島中学校生徒による大型紙芝居「忘れない東海豪雨～語り継ごう未来のために～」を上演。

(活動で意識していること) 日頃別々のボランティアをしているグループや人達と、目的を共有し、ともに活動することによって、子供も巻き込みながら、地域全体が 1 つになる活動に取り組む。

#### (◎成果と●課題)

◎当日は、300 名以上の地域の方々が集まってくれた。楽しい企画をきっかけに、子供から高齢者まで、幅広い世代の参加があり、特に若い世代の家族連れが楽しむ姿が見られた。

◎中学生ボランティアの参加により、若者と年配の方々の和やかな雰囲気での交流ができた。

◎子供たちが、災害に対して、今後のために何が必要かを学ぶ良い機会となった。

●事前会議の準備不足で、会議開催の意図が伝わらず、工夫すればもう少し計画的に進められると思う。

●低学年、未就学児にとっては、「お化け屋敷」の内容が怖すぎた。また、順番待ちの行列ができ、待たせてしまった。

●事前告知の方法や、次の担い手への引継ぎ。

#### (関係者の声)

・紙芝居の内容が、水害だけでなく地震の備えにも役立つとうれしい。(中学 1 年生)

・我が子がボランティアとして参加して、貴重な体験をさせてもらった。親子で勉強になった。(保護者)

・初めてのイベントで、準備段階も大変だったが、多くの方と関わりながらイベントを作り上げるのは楽しかった。(地域学校協働活動推進員)